

# 「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		中央公民館事業費 [五館合同事業]						
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	事業番号 1	
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	中央公民館		課	事業	係	課長名	越中 洋	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	1-2 - 5-3		
【施策名】 生涯学習の充実、共に支えあう地域社会の確立					総合計画書 (ページ)	35 110		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	市民			→市の人口【4月1日】				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
地域で、学習の場に参加できる。			→五館合同事業参加者					
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤こつみんかんだよりの発行			①夏休みみんなで作る遊空間開催回数 ②市民大学(前期)開催回数 ③市民大学(後期)開催回数 ④ここがふるさと・東大和の魅力発見発信し隊開催回数 ⑤公民館のつどい開催回数 ⑥五館合同交流会開催回数 ⑦こつみんかんだよりの発行 ⑧障害者青年教室開催回数 ⑨地域デビューパーティー開催回数 ⑩五感活用うどん講座 ⑪ヒガシヤマト未来大学をいっしょにつくりませんか? ⑫ヒガシヤマト未来大学開催回数 ⑬デジタルアーカイブ講座開催回数					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標
	対象指標	①の数値	人	85,698	85,337	85,266		
	成果指標	②の数値	人	2,614	2,339	1,349.0		
	目 標	②の目標値						
	目標値設定の考え方							
	活動指標	③の数値	回	① 34	① 31	① 32		
				② 0	② 0	② 0		
				③ 0	③ 0	③ 0		
				④ 0	④ 0	④ 0		
			⑤ 0	⑤ 0	⑤ 0			
			⑥ 2	⑥ 2	⑥ 0			
			⑦ 6	⑦ 6	⑦ 6			
			⑧ 17	⑧ 11	⑧ 12			
			⑨ 1	⑨ 0	⑨ 1			
			⑩ 0	⑩ 0	⑩ 0			
			⑪ 0	⑪ 0	⑪ 0			
			⑫ 28	⑫ 4	⑫ 1			
			⑬ 5	⑬ 0	⑬ 0			
3 経費	事業費(実績)		円	8,050,175		637,844		
	財源	一般財源	円	8,050,175		619,844		
		特定財源(国・都・他)	円	0		18,000		
		(うち受益者負担)	円	0		0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人					
	所要人数(再任用)	人	人件費は、中央公民館事業費[中央公民館事業]に含まれる					
職員人件費(再任用以外)	円							
職員人件費(再任用)	円							
事業費+人件費			円	8,050,175		637,844		
4 環境変化等	(1) 開始年度 平成16年度							
	(2) 環境の変化							
	①参加人数が当初の500人から1000人を超えるようになった。令和2年度は減少。②③30年度にヒガシヤマト未来大学にリニューアルのため、29年度をもって事業廃止。④3年間の事業期間が終了したため、平成29年度をもって事業廃止。⑤平成28年度廃止。⑥平成26年度から年2回。⑦30年度にリニューアル⑧平成27年度は中央事業、28年度は5館合同、29年度は中央事業として継続実施。⑨産業まつりと同時開催。⑩自主グループ化し、五館合同事業としては終了。⑪ヒガシヤマト未来大学へのリニューアルに向けた企画委員養成講座のため、平成29年度をもって事業終了。							
平成31年度より「3経費」の計上方法を変更した(「中央公民館事業」に経費を一括して計上していたが、「中央公民館事業」「中央公民館施設管理」「公民館運営審議会の開催」「五館合同事業」にそれぞれ計上するようにした(人件費を除く))。								

※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。  
 人件費(再任用職員以外)  
 年間単価は、8,380,000円  
 時間単価は、4,300円  
 で計算してください。  
 【算出根拠】平成31年度決算数値。  
 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)

事業名称	中央公民館事業費 [五館合同事業]			
担当部署・課長名	中央公民館	課	事業係	課長名 越中 洋

5 市民等 の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ②③は若者の参加に重点を置き、市内外の若者の活動を活性化する目的で、「ヒガシヤマト未来大学」にリニューアルし、企画実行委員が自立して運営できることを目指す。⑦30年度にリニューアルを実施。⑩企画委員に市内外の若者が参加し、検討した企画を実施している。
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない 取組手法：②③⑥ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 協働事業は、増加傾向にある。少しずつ自主化への道をつけていき、新規事業取組への余裕をつくる必要がある。
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) ・ヒガシヤマト未来大学の充実と、自主活動に向けた取組の検討 ・「公活パーティー」の更なる充実
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 ・ヒガシヤマト未来大学の活動を継続的に支援した。 ・「公活パーティー」を公民館パネル展と位置付けて実施
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ・ヒガシヤマト未来大学の今後の運営について、メンバーと職員で方向性を明確にする必要がある。 ・「公活パーティー」を公民館パネル展として実施したが、本来の趣旨とのズレが生じたことから、取組み方を抜本的に見直す必要がある。
	8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名：生涯学習の充実、共に支えあう地域社会の確立 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名( )
9 今後の 方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 ・ヒガシヤマト未来大学の運営については、公民館職員が適切な助言・支援を行う。 ・「公活パーティー」については、内容等を抜本的に見直す。
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・ヒガシヤマト未来大学のメンバーと職員でコミュニケーションを密にするとともに、必要な知識を身につけ、メンバーに還元する必要がある。 ・効果的な事業方法を、他市の先進事例等を参考にし、研究する。